



## フィリピンにおける COVID-19 の状況について

2021 年 9 月 5 日更新

マニラ首都圏は現在、8 月に課されていた最高レベルの隔離措置「強化されたコミュニティ隔離措置（ECQ）」から 1 段階緩和した「修正を加えた強化されたコミュニティ隔離措置（MECQ）」が課せられています。

飲食店はテイクアウトとデリバリーのみで、多くの事業者が営業禁止を強いられています。

外出時のフェイスマスクの着用はもちろんのこと、今でも世界でおそらく唯一フェイスシールドの着用が義務付けられています。

マスクやフェイスシールドを適切に着用しているか、そして夜間の外出禁止時間が守られているか、その取り締まりは地域によりかなり偏っているようです。

厳しい隔離措置の期間が続いていますが、それでも感染者数は増加しており、未だピークアウトする傾向にありません。

ECQ (Enhanced Community Quarantine)

**強化されたコミュニティ隔離措置**

MECQ (Modified Enhanced Community Quarantine)

**修正を加えた強化されたコミュニティ隔離措置**

MGCQ (Modified General Community Quarantine)

**修正を加えた一般的コミュニティ隔離措置**

GCQ with heightened and additional restrictions

**制限が追加され且つ強化されたコミュニティ隔離措置**

GCQ with heightened restrictions

**制限が強化されたコミュニティ隔離措置**

GCQ with some restrictions

**いくつかの制限が強化されたコミュニティ隔離措置**

GCQ (General Community Quarantine)

**一般的なコミュニティ隔離措置**

## アウトドアスポーツ

全ての GCQ 非接触型スポーツのみ可。

MECQ ジョギングやサイクリングなど住居の近くで出来る運動や体操。

## インドアスポーツ/ジム

制限が追加され且つ強化された GCQ 不可。

制限が強化された GCQ 不可。

いくつかの制限が強化された GCQ ジムやフィットネスセンターは許容人数の 2 割まで可。

管轄する関連機関が発行するセーフティー・シールがあれば 1 割の増加が可。他のインドアスポーツ施設は許容人数の 3 割まで可。

GCQ 5 割まで可。

MECQ 不可。

## 屋内の観光施設

制限が追加され且つ強化された GCQ 不可。

制限が強化された GCQ 不可

いくつかの制限が強化された GCQ 許容人数の 3 割まで可だがガイド付きのツアーは不可。

管轄する関連機関が発行するセーフティー・シールがあれば 1 割の増加が可。

GCQ 許容人数の 5 割まで可。

MECQ 不可。

## 会議場などのイベント会場

制限が強化された GCQ 不可。

いくつかの制限が強化された GCQ 許容人数の 3 割まで可だが、社交行事に限り許容人数の 1

割が上限。管轄する関連機関が発行するセーフティー・シールがあれば1割の増加が可。

GCQ 許容人数の5割まで可。

MECQ 不可。

#### 理容室や美容院、美容クリニックなど

制限が追加され且つ強化された GCQ 許容人数の3割まで可。

制限が強化された GCQ マスク着用を条件に許容人数の3割まで可。管轄する関連機関が発行するセーフティー・シールがあれば1割の増加が可。

いくつかの制限が強化された GCQ マスク着用を条件に許容人数の5割まで可。管轄する関連機関が発行するセーフティー・シールがあれば1割の増加が可。

GCQ 許容人数の5割まで可。

MECQ 不可。

#### 屋外の観光施設

制限が追加され且つ強化された GCQ 許容人数の3割まで可。

制限が強化された GCQ 許容人数の3割まで可。

いくつかの制限が強化された GCQ 許容人数の5割まで可。

GCQ 許容人数の5割まで可。

MECQ 不可。

#### ステイケーション

制限が強化されたコミュニティ隔離措置／いくつかの制限が強化された GCQ 政府よりステイケーションを運営する認可を取得している宿泊施設は制限なし。他の宿泊施設は管轄する自治体の指導によるものの、許可される場合は許容人数の3割まで可。

GCQ 可。

MECQ 不可。

### レストランの屋内飲食

制限が追加され且つ強化された GCQ レストランでの飲食は不可。テイクアウトとデリバリーのみ可。

制限が強化された GCQ 許容人数の 2 割まで可。管轄する関連機関が発行するセーフティー・シールがあれば 1 割の増加が可。

いくつかの制限が強化された GCQ 許容人数の 4 割まで可。管轄する関連機関が発行するセーフティー・シールがあれば 1 割の増加が可。

GCQ 許容人数の 5 割まで可。

MECQ 不可。

### レストランでの屋外飲食

制限が強化されたコミュニティ隔離措置／いくつかの制限が強化された GCQ 許容人数の 5 割まで可。

GCQ 可。

MECQ 許容人数の 5 割まで可。

### 宗教活動、結婚式、洗礼式、葬式

制限が強化されたコミュニティ隔離措置／いくつかの制限が強化された GCQ 対面式の宗教活動は不可。通夜、葬式、法事は近親者のみに限り可。

制限が強化された GCQ 許容人数の 1 割まで可。ただし自治体は 3 割まで可。

いくつかの制限が強化された GCQ 許容人数の 3 割まで可。ただし自治体は 5 割まで可。

GCQ 許容人数の 3 割まで可。ただし自治体は 5 割まで可。

MECQ 許容人数の 1 割まで可。ただし自治体は通夜、葬式、法事を近親者のみに限り 3 割ま

で可。

#### 隔離措置の格付けが異なる地域への移動

制限が追加され且つ強化された GCQ NCR Plus から外部への移動には予め許認可が必要。

制限が強化されたコミュニティ隔離措置／いくつかの制限が強化された GCQ 原則不可だが、隔離措置の規定範囲内で許可されている必需品を得るための移動、予め認可を受けた特定の場所での労働などであれば可。

GCQ 原則不可だが、隔離措置の規定範囲内で許可されている必需品を得るための移動、予め認可を受けた特定の場所での労働などであれば可。

MECQ 原則不可だが、隔離措置の規定範囲内で許可されている必需品を得るための移動、予め認可を受けた特定の場所での労働などであれば可。

#### 年齢枠の移動制限

GCQ 5～17 才は屋外の公共の場所が可。

制限が強化されたコミュニティ隔離措置／いくつかの制限が強化されたコミュニティ隔離措置  
18 歳未満は外出禁止。65 歳を超える高齢者はワクチン接種を済ませた場合に限りワクチン接種証明証を持参すれば外出可。

MECQ 18 歳未満の未成年と 65 歳を超える高齢者は外出禁止。

参考 : <https://www.rappler.com/newsbreak/iq/guide-rules-areas-under-gcq-with-restrictions-june-2021>

## ワクチン接種の優先順位

---

- A1 前線で活動する医療従事者
- A2 高齢者（60歳以上）
- A3 併存疾患を有する者
- A4 警官や兵士などの制服組を含むエッセンシャルセクターの前線で活動する従事者
- A5 生活困窮者
- B1 教師およびソーシャルワーカー
- B2 他の公務員
- B3 他のエッセンシャルワーカー
- B4 リスクが高い社会人口統計学的グループ
- B5 フィリピン人海外就労者
- B6 他の労働者
- C 上記に含まれないフィリピン人全て

参考：マニラ新聞「ワクチン接種計画 優先順位を発表」

<http://www.manila-shimbun.com/category/society/news255976.html>

## タイムライン（特に重要なニュース案件のみをピックアップしました）

---

- 8月 1日 新規感染者 8,735 人
- 2日 マニラ首都圏に ECQ が課される 6 日～ 20 日の期間中、本来であればジョギングやサイクリングなどの非接触型スポーツも禁止されているが、今回は許可すると大統領府が発表。ただし住居の区域内に限る。スポーツジムの営業は引き続き禁止。
- 2日 政府がデルタ株の封じ込めに必死である中で、マニラ市はワクチン接種を 24 時間継続して行う施策を発表。
- 4日 大統領府は、マニラ首都圏の全ての行政機関に対して、ECQ が課される期間中、職員は最低 20% を維持して稼働するように伝えた。ただし、医療前線の従事者を含む医療関係者、試験検査機関、出入国管理などの重要な職務は対象外。
- 5日 マニラ首都圏内の一部ワクチン接種会場で混乱が生じ、大群衆が発生したため、一時閉鎖となった。
- 6日 保健省は、ワクチン接種をしていない市民は政府からの資金援助がもらえず出勤も許されないという巷の噂を否定する声明を発表。この噂が 5 日の一部接種会場の混乱につながったという。連邦捜査局は、虚偽情報の根源を探る捜査を開始したと伝えた。
- 6日 保健省は、デルタ株の感染者が新たに 119 人報告され、合計 450 人になったと伝えた。うち 20 人がフィリピン人海外就労者で、6 人は不明だという。
- 7日 最高レベルの隔離措置（ECQ）が課されているマニラ首都圏、ラグナ州、イロイロ市、カガヤン・デ・オロ市では、多くの事業者が業務の中止を余儀なくされている。これに対するガイドラインを貿易産業省が改めて発表した。
- 8日 マニラ市政府は、同市内の一部ワクチン接種会場の 24 時間化を開始。
- 9日 国家コロナ制圧タスクフォースは、8 月の第一週に 470 万回分のコロナワクチンが届いたと発表。月末までに合計 200 万回分が更に届けられるという。
- 10日 マニラ首都圏開発局は首都圏の市長評議会での決定を受けて、市民の外での運動を禁止すると発表した。期間は ECQ が終わる予定の 20 日までだという。
- 10日 国家統計学者デニス・マパ氏によると、フィリピン経済は 2021 年の第 2 四半期は前期比 11.8% 増だったものの、前四半期比は -1.3% だったという。



- 1 1 日 政府は COVID-19 患者の濃厚接触者の自己隔離期間を 7 日間から 1 4 日間に戻すと発表。デルタ株に対応するためだという。濃厚接触者とは感染者と 1 メートル以内の距離で最低 1 5 分間対面した場合を指すと伝えた。
- 1 3 日 政府は、インド、パキスタン、バングラデシュ、スリランカ、ネパール、UAE、オマーン、タイ、マレーシア、インドネシアの計 1 0 カ国への渡航禁止規制を 8 月 3 1 日まで延長すると発表。
- 1 4 日 セブ州政府は、同州に登録している公共交通機関の全ての車両運転手と車掌に対し、勤務中に携帯型空気清浄機の着用を義務付けると発表。
- 1 5 日 保健省は、デルタ株の新規感染者が 1 8 2 人増え、合計 8 0 7 人に達したと伝えた。
- 1 5 日 保健省は初めてラムダ株の感染者が報告されたと発表。3 5 歳女性で、海外からの帰国者かは不明だという。
- 1 5 日 マニラ市政府は、イスコ・モレノ市長が COVID-19 に感染したと発表。感染症状が見られたため入院するという。
- 1 7 日 労働省は、シルヴェストレ・ペロ大臣が COVID-19 に感染したと発表。症状は見られないという。
- 2 0 日 **新型感染者が 17,231 人報告され、フィリピンで 1 日に報告された COVID-19 感染者の記録を更新。**
- 2 3 日 食品医薬品局は、ロシア製ワクチン「スプートニク・ライト」の許可申請を承認したと発表。同ワクチンは既に使用が許可されている「スプートニク」とは異なり、1 回接種で済む新型コロナワクチン。
- 2 3 日 **新型感染者が 18,332 人報告され、フィリピンで 1 日に報告された COVID-19 感染者の記録を更新。過去の最高記録は 2 0 日の 17,231 人だった。**
- 2 5 日 政府は、中国製コロナワクチン「シノバック」1 0 0 万回分を追加注文したという。在庫の 2 6 0 万回分は全て接種したという。
- 2 5 日 サンミゲール社は、自社の労働力およそ 7 万人のうち、8 0 % 以上が最低一回のワクチン接種を終えたと伝えた。
- 2 7 日 保健省は、コロナワクチンの国内製造の可能性に関する報告書が 1 1 月にはまとまるだろうと伝えた。来年には製造をはじめたい考えだという。
- 2 8 日 大統領府は、8 月 3 1 日で終わるはずだったマニラ首都圏の MECQ を 9 月 7 日まで延長すると発表。引き続き夜間外出禁止令が適応され、午後 8 時～午前 4 時の外出が原則禁止となる。

28日 新型感染者が19,441人報告され、フィリピンで1日に報告されたCOVID-19感染者の記録を更新。過去の最高記録は23日の18,332人だった。

30日 新型感染者が22,366人報告され、フィリピンで1日に報告されたCOVID-19感染者の記録を更新。過去の最高記録は28日の19,441人だった。

※ 赤色は1日の新規感染者の記録が更新された記載文。

注) 「NCR Plus」(エヌ・シー・アール・プラス)とはマニラ首都圏とその周辺の4州(カビテ、リサール、ブラカン、ラグナ)を指す。

注) 「IATF」(アイ・エイ・ティー・エフ)は「新興感染症に関する庁間タスクフォース」の意味。

参考:

<https://www.rappler.com/nation/covid-19-pandemic-latest-situation-in-the-philippines-august-2021>